

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全3枚)

氏 名 荒谷 啓一

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
1	<p>市政運営の基本的姿勢について</p> <p>令和8年仕事始め式の市長訓示に関する新聞報道で、「公共交通の充実や、税金の無駄遣いの見直しなどに取り組むとした」との記事があった。また、加賀4ロータリークラブ新年合同例会の市長新春講演での資料「未来へ繋ぐ強くしなやかな財政」の説明文に、「税金の無駄遣いを見直し、予算の重点配分で持続可能な財政基盤を築く」とあり、終了後「税金の無駄遣い」という表現に対し物議を醸した。</p> <p>これまで予算を可決してきた議会や苦心して予算編成に取り組んできた市職員に対して、この表現は適切ではない。もはや選挙公約ではないのであるから、今後の市政の円滑な運営のためにも改めるべきであると考え、所見を問う。</p> <p>あわせて、当初予算編成において、「税金の無駄遣い」と判断された具体的な事業名及び予算額を問う。</p>	
2	<p>人口減少対策の位置づけについて</p> <p>1月6日の新聞報道で昨年12月1日時点の県内の人口推計結果が発表され、「野々市が4位、加賀と入れ替え」との小見出しがあった。この数値は令和2年国勢調査の確定人口に、その後の出生・死亡・転入・転出の住民基本台帳データを加減して算出され、実際の人口に最も近い数値として扱われている。その後も野々市市と加賀市の推計人口の差は大きくなっている。住民基本台帳人口や有権者数は加賀市の方がまだ多いとはいえ、加賀市のイメージや市民に与える印象は良くない。</p> <p>これまで、寺前市政は「人口減少を前提に政策を遂行すべき」、宮元市政は「人口減少対策が最優先課題」との方針で、それぞれ市政に取り組まれてきた。本定例会の40分以上にわたる市長提出議案説明の中で、「人口減少」という単語は1か所であったが、市長の当初予算における「人口減少対策」の位置づけについて、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全3枚)

氏 名 荒谷 啓一

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
3		<p>小・中学校の樹木環境整備について</p> <p>河南小学校では校内樹木の老木・巨木化により、太い枝の落下やグラウンド内への根上がりなどに加え、近隣からも落ち葉、害虫などに対するクレームがあり、それらの対応に大変苦慮している。また、他校にも聞き取り調査をした結果、橋立海青学園を除く全小・中学校 21 校中 13 校（特に錦城・片山津中学校区）において、危険樹木の伐採や剪定、蜂の巣除去などについて、中には敷地外の樹木や竹が倒れ込むなど、学校や保護者だけでは対応できない、深刻な状態になっている学校もあった。</p> <p>当初予算主要事業の小中学校施設整備事業で、「経年劣化等により不具合が生じている小中学校の施設について、児童生徒が安全・安心で快適な環境で学習できるよう整備を行う」とあり、樹木環境の整備についても同様であると考えているが、所見を問う。</p>	
4	(1)	<p>防災について</p> <p>携帯トイレの購入補助について</p> <p>当初予算主要事業に、山中温泉文化会館解体工事費などと共に別途、市の災害用備蓄品購入事業も掲載されており、緊急避難所整備の観点から、山中温泉地区まちづくり推進協議会では地域防災への意識が高まっている。今後の各家庭の自助力強化の一環として、特に携帯トイレ購入に対する補助制度についての要望があることから、白山市や七尾市などの補助制度を参考にぜひ取り組んでいただきたい。</p> <p>令和7年6月定例会における同僚議員の質問に対し、「携帯トイレなどの家庭用防災用品への支援策は、他自治体の状況などを参考に助成制度の拡充について検討していきたい」との答弁があったが、検討結果が当初予算に反映されているのか、所見を問う。</p>	
	(2)	<p>令和8年度の組織再編について</p> <p>令和8年度において、危機対策部と市民生活部が新設されるなど、市役所組織の再編が発表されたが、危機対策部は危機対策課のみの1課制となっている。</p> <p>有事の際、特に重要な初動体制における部内人員協力体制に問題はないか。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目/全3枚)

氏 名 荒谷 啓一

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
5	<p>山中球場周辺整備事業について</p> <p>令和4年3月定例会での本事業についての質問に対し、「令和4～6年度の3年計画で、山中武道館を解体し、跡地にかつら児童公園を移設、それに伴い駐車場を拡張整備する」との答弁であった。その後、令和6年12月定例会では、「令和5年度に山中武道館を解体後、事業の進捗がないが、今後の予定は」との質問に対し、「地元から冬期間における雪捨て場にとの要望があり、当面は雪置場と野球場などの駐車場にする。今後の整備についても、地元の意見を確認しながら検討していきたい」との答弁であった。</p> <p>現駐車場は砂利敷の簡易駐車場であり、隣接する山中中央保育園の送迎車両にとっての利便性はよいが、出入口が狭く急勾配で、事故が懸念されている。また、地元が要望する雪置場は公園移設を妨げるものではない。その後の検討状況と今後の予定について問う。</p>	
6	<p>(1) 部活動の在り方改革について 部活動改革地域クラブ運営事業費について</p> <p>平日・休日を問わない地域クラブへの完全展開に向け、一般社団法人放課後共創基金が設立され、「かが地域・学び共創プラットフォーム」が、部活動や地域クラブの運営の安定化や指導者などの人材の確保・育成等の指導体制の構築を図るとのことであるが、その出資金や運用益の予定はどの程度なのか。</p> <p>また、持続可能性に対する見込みについて、所見を問う。</p>	
	<p>(2) 事業費と今後の方針、組織について</p> <p>事業費(4,737万6,000円)の内訳と、8運動部以外で現在部活動種目にはないサッカーや水泳、武道などを今後、増やしていく考えはないか。</p> <p>また、「かが地域・学び共創プラットフォーム」の事務局長は、手探りのスタート時ということで大変重要な役割なので、学校との関係に精通した現役職員を配置すべきと考えるが、所見を問う。</p>	